



■リフォーム後

■リフォーム前

## どこにいても家族を感じられる家

水周りが古くなったので改修を考え、その中で生活スタイルに合わない部分を拾い出し増築を行うことになった。改修のポイントは次のようにまとめた。

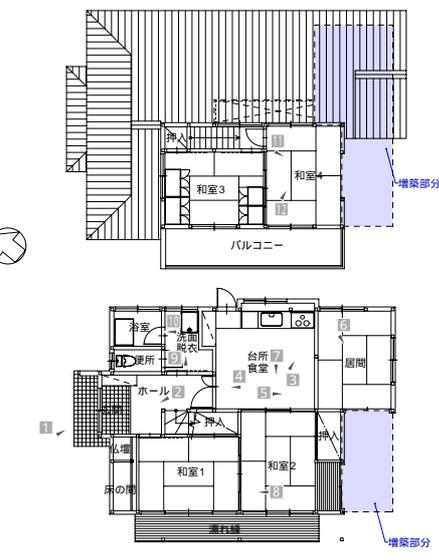
1. 家族が集える広い空間と、庭につながる居間
2. 調理をしながら庭の見える台所
3. 露天風呂のような寛げる浴室
4. 朝日が入る空間と、風の抜けていく部屋
5. 使い勝手のよい収納スペース
6. 耐震補強

家族と一緒にたくさんの動物の住む家は、みんなの気配を感じられるように空間構成となった。建具は、開け放たれるように引き込みの障子とし外部のサッシも全面開放のサッシを設置した。

居間の広さは2倍になり和室やウッドデッキとつながり、吹き抜けを介して2階とも一体となる空間になった。床は無垢のフローリングを張り、植物性の塗装を家族で施工した。広くなった居間には大テーブルを置き家族全員<猫2匹、犬3匹、亀2匹(水槽)、鶯1羽(ゲージ)、グッピー(水槽)>が集まっても十分な空間となった。浴室は、天井と壁を桧の板張りとし、全面開口のサッシを設置した。窓を開けると外気が直接浴室内に入ってきて露天風呂のような室内となった。

## PLAN

■リフォーム前



■リフォーム後

